

# <家庭科>

## 指導事例一覧

番号	科目名	言語活動の特色	単元名	分類	活動
1	家庭基礎	ロールプレイを通して、他者と意見を共有し、互いの考えを深める事例	子どもの発達と保育—(親の立場になって)子どもとの関わりを考える	(1)イ(i) (ii) (2)ア イ	④⑥
2	家庭総合	グループ活動を通して互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させる事例	人の一生と食事 —ライフステージに合わせた食事のデザイン	(1)ア(i) (ii) (1)イ(i) (ii)	②⑤
3	生活デザイン	資料から情報を読み取り、自分の意見を簡潔にまとめる事例	装いの科学と表現	(1)ア(i) (ii)	④

### <分類, 活動の見方>

分類・・・言語の役割を踏まえ言語活動を分類したもの(詳細は第2章7～9ページ参照)

- (1) 知的活動(論理や思考)に関すること
  - ア 事実等を正確に理解し、他者に的確に分かりやすく伝えること
    - (i) 事実を正確に理解すること
    - (ii) 他者に的確に分かりやすく伝えること
  - イ 事実等を解釈し説明するとともに、自分の考えをもつこと、さらに互いの考えを伝え合うことで、自分の考えや集団の考えを発展させること
    - (i) 事実等を解釈し、説明することにより自分の考えを深めること
    - (ii) 考えを伝え合うことで、自分の考えや集団の考えを発展させること
- (2) コミュニケーションや感性・情緒に関すること
  - ア 互いの存在についての理解を深め、尊重すること
  - イ 感じたことを言葉にしたり、それらの言葉を互いに伝え合ったりすること

活動・・・思考力・判断力・表現力等を育むための学習活動(詳細は第1章5～6ページ参照)

- ① 体験から感じ取ったことを表現する
- ② 事実を正確に理解し伝達する
- ③ 概念・法則・意図などを解釈し、説明したり活用したりする
- ④ 情報を分析・評価し、論述する
- ⑤ 課題について、構想を立て実践し、評価・改善する
- ⑥ 互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させる

家庭－1(家庭基礎) ロールプレイを通して、他者と意見を共有し、互いの考えを深める事例

【学習活動の概要】

1 単元名 子どもの発達と保育 － (親の立場になって) 子どもとの関わりを考える			
2 単元の目標			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロールプレイを通して、子供と関わることに興味をもっている。</li> <li>・乳幼児期における親や家族の関わり方について考え、まとめ、発表する。</li> <li>・子どもの健やかな成長のために家族や社会が果たす役割について理解する。</li> </ul>			
3 単元の評価規準			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
乳幼児の生活や子供と関わることに興味をもち、その課題について考えようとしている。	乳幼児期における親や家族の関わり方について考え、まとめ、発表している。	/	子供の健やかな成長のために家族や社会が果たす役割について理解している。
4 取り上げる言語活動と題材			
(1) 言語活動 「子どもとの関わり」について考え、話し合い、まとめたことを発表する。			
(2) 題材 ロールプレイを通して、子どもへの親や家族・社会の果たす役割について考える。			
5 単元の指導計画(全6時間)			
	学 習 活 動	言語活動に関する指導上の留意点	
第1次 (4)	○教科書から、乳幼児の生活における課題をまとめる。 例)・乳幼児の心身の発達の特徴 ・乳幼児の生活(遊び、生活習慣の形成) ・親や家族、家庭生活の役割	・第2次のロールプレイで、活用することを伝える。	
第2次 (2)	○学習した内容を活用し、プリントを基にロールプレイに取り組む。  ①導入 <b>プリント①</b> ②テーマ説明とルールの確認 ③グループで相談(約10分) ④ロールプレイによる体験活動(1グループ3～5分演じる) ⑤感想とまとめ <b>プリント②</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分と異なる立場の人を理解するためのロールプレイであることを認識させる。</li> <li>・ロールプレイが円滑に進むような準備活動を取り入れる。</li> <li>・からかったりせず、友人の意見を大事にした言動を取るよう助言する。</li> <li>・他者と関わる力を高めるようにする。</li> <li>・言葉によるコミュニケーション(自分の意見を自分の言葉で伝える)が重要であることを助言する。</li> <li>・意見を共有し、互いの考えを深めることができるように、まとめさせる。</li> </ul>	

【解説】

【指導事例と学習指導要領の関連】

本事例の指導事項は、次のとおりである。

(1) 人の一生と家族・家庭及び福祉

イ 子どもの発達と保育

乳幼児の心身の発達と生活、親の役割と保育、子どもの育つ環境について理解させ、子どもを生み育てることの意義を考えさせるとともに、子どもの発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割について認識させる。

【言語活動の充実の工夫】

子供と実際に関わり、コミュニケーションするためには、乳幼児との触れ合いや交流等を行うことが望ましいが、学校の実態等から難しいこともある。そこで、本指導事例では、「子供のわがまま」という具体的な場面を取り上げ、**A**わがままを言う子供、**B**子供のわがまますべてを肯定的に受け入れる人、**C**子供のわがまますべてを認めずに怒る人、の三者を想定し、それぞれの立場になって、生徒にロールプレイをさせた。このような活動を通して、生徒には次のような言語活動の学習機会を与えることができる。

- ① 教科書等で習得した知識を活用して、テーマに沿った役割を演じることで、自分の考えを表現するとともに、他者との会話を通して自分と異なる立場の考え方について理解する。
- ② 演じたり観察することで、子供に対する大人としての働きかけの方法や、親としての態度などを考え、まとめることができる。
- ③ グループのメンバーと協力して問題点や解決策を見だし、他者の意見を共有し、互いの考えを深める等の協同的な関係を築くことができる。

生徒の考えるストーリー（一例）

- 緑日で欲しいものがあり、それをねだる子とその親。
- 幼稚園を転園して第1日目。行きたくないという子とその親、先生、園児のやり取り。
- スーパーやデパートで物を欲しがると親のやり取り。
- 公園で遊ぶ子と夕食の準備もあり、帰ろうとする親。
- 幼稚園で自分のやりたい遊びを主張する子と、園児と先生。
- 嫌いな食べ物に前にする子と、親や兄弟、友達とのやり取り。

〔留意事項〕

○本時の前に、ロールプレイの実例を示したり、プレロールプレイとして、子供を育てる夫婦の会話を吹き出しの中に記入するプリントで演習したりするなど、生徒のロールプレイが円滑に進むように工夫する。

○ロールプレイは、

1 グループ3～5分程度は実施できるようにし、よい点や課題などの特徴が出るように助言する。

○Aの立場を演じた生徒、BやCの役やその他の同じ役を演じた生徒が、その立場を演じて気付いたことについて話し合い、その内容を発表する。

プリント①

～子どもの豊かな発達を考えよう～

自分と異なる立場の人を理解しよう。  
相手と違ってよりよい理解を考へることができるようになろう。  
コミュニケーション力をつけよう。

流れについて

ウォーミングアップ

自己紹介をしよう。あなたは幼稚園（保育園）のころ5000と叫ばれていました。  
①小さい頃好きだった遊びは○○です。  
声をかけあってみよう。②おはいている子と声をかけよう。  
③おはいている子と声をかけよう。

心理劇を実演してみよう

グループ作り

グループで相談  
議題：子どものわがまま  
わがままを言う子ども  
わがまますべてを受け入れる人  
わがまますべてを認めない人  
登場人物、ストーリーなどを考へる。

一語ずつ感想を言おう

演じながら感じたこと、観た人が感じたこと話し合おう  
課題は共有しよう。問題を解決を考えよう

みんなの感想を共有しよう

プリント②

今日の振り返り

担任 先生 氏名

( ) 役をやって感じたこと

観察者役をやって感じたこと

グループが話し合っていたこと

今日の感想を通して感じたこと

自己評価 (A:よくできた、B:できた、C:できなかった)	自己評価
ロールプレイが知識として、子どもとのわがままについて考えることができましたか	A B C
子どもとのわがままについて、自分の意見も述べたり、家庭の意見を聞くことができましたか	A B C
自分の意見も聞きながら、相手の意見も聞きながら話し合えましたか	A B C

家庭－2(家庭総合) グループ活動を通して互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させる事例

1 単元名 人の一生と食事 ーライフステージに合わせた食事のデザイン			
2 単元の目標			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児から高齢期までの各ライフステージにおける食生活の課題，食事摂取基準や嗜好の変化などについて理解させる。</li> <li>・自分の食生活を振り返り，現代の食生活の傾向と問題点について考え，毎日の食事が健康と深く関わっていることを理解させる。</li> <li>・青年期の食事の重要性や家族の食事を管理運営することについて考えさせる。</li> </ul>			
3 単元の評価規準			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
各ライフステージに応じた食事について関心をもち，その課題について考えようとしている。	生涯を見通した食生活について考え，自分なりに工夫している。	生涯を見通した食生活を営むために必要な情報を収集・整理することができる。	各ライフステージの栄養的な特徴について理解している。
4 取り上げる言語活動と教材			
(1) 言語活動 グループごとに調べた情報をまとめ，集団の考えを発展させること。			
(2) 教材 各ライフステージの課題に応じた食生活の工夫			
5 単元の指導計画(全6時間)			
	学 習 活 動	言語活動に関する指導上の留意点	
第1次 (2)	○自分の食生活の現状と課題について考える。	・第2次以降の活動について知らせ，学習の見通しをもたせる。	
第2次 (1)	○自分が担当するライフステージを（青年期，壮年期，高齢期等）を決定し，その生活などを調べ，条件にあった食生活を考える。	・各ライフステージにおける特徴をより具体化するために，設定した人の背景が分かるようにする。	
第3次 (1)	○同じライフステージを担当した者が集まり，情報交換を行い，必要な部分の修正を行う。	・設定した人の背景と食事のデザインについて，小集団で発表できるようにする。	
第4次 (1)	○異なるライフステージのメンバーで構成されたグループを作り，それぞれが考えた食事について説明する。（ジグソー学習） ○それぞれの資料を基にして，再びライフステージ順に並べる。	・第5次での発表に用いる，まとめの資料に，ストーリーとしてつながるように記入させる。 ・ストーリーに気を取られ，それぞれが行った食事デザインの特徴を見落とさないように注意する。	
第5次 (1)	○各班の成果を発表する。 ・各自で振り返りを行う。	・各班の資料をプロジェクターを使用して，ポイントを押さえて発表させる。	

【解説】

【指導事例と学習指導要領の関連】

本事例の指導事項は、次のとおりである。

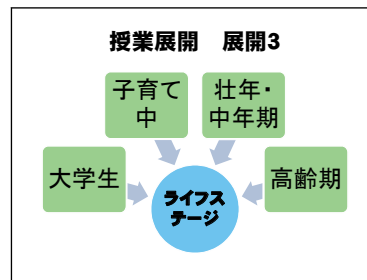
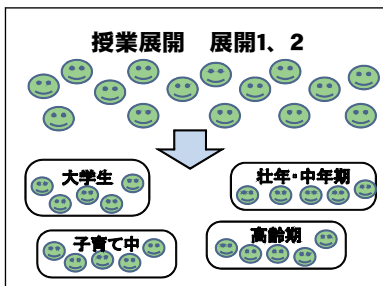
(4) 生活の科学と環境

ア 食生活の科学と文化

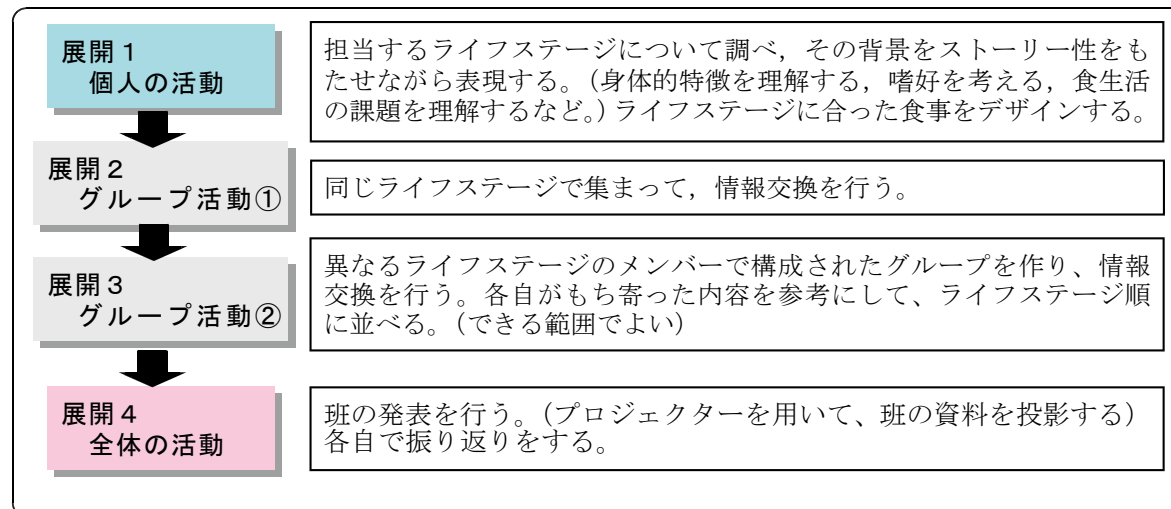
栄養、食品、調理及び食品衛生などについて科学的に理解させ、食生活の文化に関心をもたせるとともに、必要な知識と技術を習得して安全と環境に配慮し、主体的に食生活を営むことができるようにする。

【言語活動の充実の工夫】

① 乳児期から高齢期までのライフステージにおける食生活の課題について、各ライフステージの背景をストーリー性をもたせながら生徒に考えさせる。生涯を見通した食生活の管理運営ができるように、グループ活動を通して具体的に捉えることができるようにする。



② 本事例では、はじめに個人で課題に取り組み、次に同じ課題のグループで情報を交換した後、その情報を新たに異なる課題のグループの中で伝達説明を行う「ジグソー学習」を取り入れている。食事のデザインを考える際のライフステージは、青年期、子育て中、壮年期・中年期、高齢期などが考えられる。



〔留意事項〕

- 展開1を実施する際は、生徒の実態や授業時間数等により、事前学習を実施することも必要である。
- 展開2では、コンピュータを用いてまとめると、効果的である。
- 展開3は各ライフステージの特徴を総合することで、人の生涯の流れや発生する事象について、生徒自身が改善・解決する方法を学習することができる。
- 展開4の発表活動では、プロジェクターを用いて班の資料を投影しながら成果を発表させることで、プレゼンテーション能力を育成することも可能となる。
- 生徒が主体的に参加する授業を展開することができるように、グループ構成を工夫する。



家庭－3(生活デザイン) 資料から情報を読み取り、自分の意見を簡潔にまとめる事例

【学習活動の概要】

1 単元名 装いの科学と表現										
2 単元の目標										
<ul style="list-style-type: none"> <li>・被服の機能が、被服材料の性能や被服の構成及び人の心理面と関わることを理解させる。</li> <li>・装いによる自己表現と他者に与える印象について考えさせ、適切な被服の選択ができるようにする。</li> <li>・装いには、衣文化に基づいた慣習があることを考えさせる。</li> </ul>										
3 単元の評価規準										
<table border="1"> <tr> <th>関心・意欲・態度</th> <th>思考・判断・表現</th> <th>技能</th> <th>知識・理解</th> </tr> <tr> <td>被服の役割や自己の着装などについて考えようとしている。</td> <td>被服の機能を生かし、自己の個性を表現する着装を工夫し、考えている。</td> <td>身の回りのファッションに関わる情報を収集・整理することができる。</td> <td>TPOに応じた服装や被服の機能について理解している。</td> </tr> </table>	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解	被服の役割や自己の着装などについて考えようとしている。	被服の機能を生かし、自己の個性を表現する着装を工夫し、考えている。	身の回りのファッションに関わる情報を収集・整理することができる。	TPOに応じた服装や被服の機能について理解している。		
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解							
被服の役割や自己の着装などについて考えようとしている。	被服の機能を生かし、自己の個性を表現する着装を工夫し、考えている。	身の回りのファッションに関わる情報を収集・整理することができる。	TPOに応じた服装や被服の機能について理解している。							
4 取り上げる言語活動と題材										
(1) 言語活動 資料から情報を読み取り、自分なりの考えを簡潔にまとめる。										
(2) 題材 被服の機能と選択－自己表現と他者に与える印象について考える										
5 単元の指導計画(全6時間)										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>学 習 活 動</th> <th>言語活動に関する指導上の留意点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1次 (2)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>○TPOに応じた被服について、自分の一日の行動に即して調べる。</li> <li>○被服の役割について考えさせ、付箋に記入する。</li> <li>○被服の役割を機能別(保健衛生上の機能、生活活動上の機能、社会生活上の機能)に分類する。</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・TPOに合った服装について、具体的に考えるように助言する。</li> <li>・付箋には、キーワードを記入させるようにする。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>第2次 (4)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>○グループごとに、雑誌・広告・カタログ等から、様々な着装の写真を収集し、TPOごとに分類する。</li> <li>○グループで収集した着装から1例を選んで、着る側からと見る側からの印象について意見交換し、まとめる。</li> <li>○自分の意見をまとめる。 <b>(ワークシート)</b></li> <li>○自分の服装に対する嗜好や個性の表現について、総合的に考える。</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ファッションの情報源になる資料をなるべく多く準備する。</li> <li>・グループで実施する。</li> <li>・友人との意見交換を通して、他者から見た着装の感じ方については、多様な見方があることを考えさせる。</li> <li>・キーワードを用いてイメージマップを作成し、意見をまとめる。友人の発表を聞いて、自分では気付かなかったキーワードを加えてもよいことを助言する。</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>		学 習 活 動	言語活動に関する指導上の留意点	第1次 (2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○TPOに応じた被服について、自分の一日の行動に即して調べる。</li> <li>○被服の役割について考えさせ、付箋に記入する。</li> <li>○被服の役割を機能別(保健衛生上の機能、生活活動上の機能、社会生活上の機能)に分類する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・TPOに合った服装について、具体的に考えるように助言する。</li> <li>・付箋には、キーワードを記入させるようにする。</li> </ul>	第2次 (4)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○グループごとに、雑誌・広告・カタログ等から、様々な着装の写真を収集し、TPOごとに分類する。</li> <li>○グループで収集した着装から1例を選んで、着る側からと見る側からの印象について意見交換し、まとめる。</li> <li>○自分の意見をまとめる。 <b>(ワークシート)</b></li> <li>○自分の服装に対する嗜好や個性の表現について、総合的に考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファッションの情報源になる資料をなるべく多く準備する。</li> <li>・グループで実施する。</li> <li>・友人との意見交換を通して、他者から見た着装の感じ方については、多様な見方があることを考えさせる。</li> <li>・キーワードを用いてイメージマップを作成し、意見をまとめる。友人の発表を聞いて、自分では気付かなかったキーワードを加えてもよいことを助言する。</li> </ul>
	学 習 活 動	言語活動に関する指導上の留意点								
第1次 (2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○TPOに応じた被服について、自分の一日の行動に即して調べる。</li> <li>○被服の役割について考えさせ、付箋に記入する。</li> <li>○被服の役割を機能別(保健衛生上の機能、生活活動上の機能、社会生活上の機能)に分類する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・TPOに合った服装について、具体的に考えるように助言する。</li> <li>・付箋には、キーワードを記入させるようにする。</li> </ul>								
第2次 (4)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○グループごとに、雑誌・広告・カタログ等から、様々な着装の写真を収集し、TPOごとに分類する。</li> <li>○グループで収集した着装から1例を選んで、着る側からと見る側からの印象について意見交換し、まとめる。</li> <li>○自分の意見をまとめる。 <b>(ワークシート)</b></li> <li>○自分の服装に対する嗜好や個性の表現について、総合的に考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファッションの情報源になる資料をなるべく多く準備する。</li> <li>・グループで実施する。</li> <li>・友人との意見交換を通して、他者から見た着装の感じ方については、多様な見方があることを考えさせる。</li> <li>・キーワードを用いてイメージマップを作成し、意見をまとめる。友人の発表を聞いて、自分では気付かなかったキーワードを加えてもよいことを助言する。</li> </ul>								

【指導事例と学習指導要領の関連】

本事例の指導事項は、次のとおりである。

(4) 衣生活の設計と創造

ア 装いの科学と表現

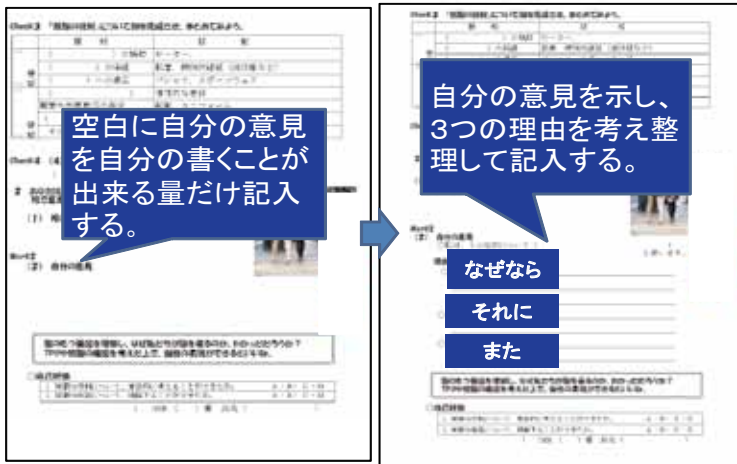
被服の機能を科学的に理解させ、目的に応じた被服の選択や自己を表現する着装を工夫できるようにする。

【言語活動の充実の工夫】

① 自分の意見を簡潔にまとめるワークシートの工夫

自分の考えを的確に文章化したり、体験から感じ取ったことを自分の言葉で具体的に表現したりできるように、記述するワークシートを工夫した。まず結論を書かせ、その理由を記述する欄を3つ設けて書く内容を意識付けるようにした。このことによって、自分の意見を整理して記入できるようになり、記述内容もすっきりとまとめることができるようになった。

意見をまとめやすい形式にワークシートに変更



生徒記入例 ①

- ◆自分の意見
  - 私は、ミニ浴衣について（よくない）と思います。
- ◆理由
  - なぜなら 浴衣は着付けとか日本の昔からの伝統があるので、それを受け継いで長いまま着こなす方がよい。
  - それに 幼い子が着るのは可愛いのでいいとも思うけれど、大人は清潔な感じに着こなした方がよいと思うからやめた方がよいと思う。
  - また 大人らしくTPOを考えて欲しい。浴衣は可愛く着るものではなくて、きれいに着こなすものだと思う。

生徒記入例 ②

- ◆自分の意見
  - 私は、ミニ浴衣について（よい）と思います。
- ◆理由
  - なぜなら 現代ほくてよいと思います自己の表現ができ、普通の浴衣よりもアレンジが楽しいかなと思います。
  - それに 日本の文化がくずれてしまいかんとも思いますが、若い人の間での流行であり、新しい文化としてみると日本の良い文化だと思います。
  - また 女性として品を失わないよう、マナーなどそういったところに気を配って着たらよいと思います。



② イメージマップを取り入れて、自分の考えをまとめる工夫

ワークシートにイメージマップを取り入れ、友人の意見として出たキーワードを基に、関連性のあるものをつなげ、自分の意見としてまとめさせる。このようにすることで、自分なりに語句を整理し、具体的に考えることができるようになる。また、友人の意見を聞く前と後とで、鉛筆の色を変えるなどすると、生徒自身も学習の効果を気付きやすく、自己評価もしやすくなる。

